

Ⅲ 家族との関係

1 家族との交流関係

家族との交流関係について「交流なし」の割合は、里親委託児で82.2%（前回84.4%）、養護施設児で17.6%（前回21.4%）、情緒障害児で2.7%（前回2.0%）、教護院児で6.7%（前回8.1%）、乳児院児で22.6%（前回27.6%）となっており、特に、里親委託児で「家族との交流なし」が高くなっている。

表13-1 家族との交流関係別児童数

	総 数	交流あり			交流なし	不 詳
		帰 省	面 会	電話手紙連絡		
里親委託児	2,175 100.0%	102 4.7%	166 7.6%	106 4.9%	1,787 82.2%	14 0.6%
養護施設児	26,979 100.0%	15,357 56.9%	4,088 15.2%	2,473 9.2%	4,758 17.6%	303 1.1%
情緒障害児	623 100.0%	486 78.0%	47 7.5%	14 2.2%	17 2.7%	59 9.5%
教 護 院 児	1,920 100.0%	1082 56.4%	484 25.2%	187 9.7%	129 6.7%	38 2.0%
乳 児 院 児	2,720 100.0%	466 17.1%	1,459 53.6%	163 6.0%	614 22.6%	18 0.7%

次に家族との交流頻度であるが、電話・手紙において「月1回以上」が最も高かったのは情緒障害児で57.1%であり、「年2回～11回」が最も高かったのは、教護院児63.6%、養護施設児63.1%、里親委託児54.7%、乳児院児52.1%であった。

また、面会において「月1回以上」が最も高かったのは情緒障害児で59.6%、乳児院児50.0%であった。「年2回～11回」が最も高かったのは、養護施設児67.6%、教護院児57.9%、里親委託児47.0%であった。

さらに、帰省において「月1回以上」が最も高かったのは情緒障害児で74.9%、乳児院児57.5%であった。「年2回～11回」が最も高かったのは、教護院児80.1%、養護施設児73.5%、里親委託児45.1%であった。なお、いずれにおいても「年1回ぐらい」の割合が高かったのは里親委託児であった。

表13-2 家族との交流頻度別児童数

	児 童 数					構 成 割 合 (%)				
	里 親 委 託 児	養 護 施 設 児	情 緒 障 害 児	教 護 院 児	乳 児 院 児	里 親 委 託 児	養 護 施 設 児	情 緒 障 害 児	教 護 院 児	乳 児 院 児
電話・手紙										
総 数	106	2,473	14	187	163	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	17	569	8	59	64	16.0	23.0	57.1	31.6	39.3
年2回～11回	58	1,561	6	119	85	54.7	63.1	42.9	63.6	52.1
年1回ぐらい	31	340	-	8	13	29.3	13.8	-	4.3	8.0
不詳	-	3	-	1	1	-	0.1	-	0.5	0.6
面 会										
総 数	166	4,088	47	484	1,459	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	49	895	28	187	730	29.5	21.9	59.6	38.6	50.0
年2回～11回	78	2,765	18	280	635	47.0	67.6	38.3	57.9	43.5
年1回ぐらい	38	426	1	17	93	22.9	10.4	2.1	3.5	6.4
不詳	1	2	-	-	1	0.6	0.1	-	-	0.1
帰 省										
総 数	102	15,357	486	1,082	466	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	44	3,274	364	192	268	43.1	21.3	74.9	17.7	57.5
年2回～11回	46	11,293	121	866	175	45.1	73.5	24.9	80.1	37.6
年1回ぐらい	11	781	1	22	22	10.8	5.1	0.2	2.0	4.7
不詳	1	9	-	2	1	1.0	0.1	-	0.2	0.2

2 児童の今後の見通し

児童の今後の見通しについては、里親委託児では「自立まで現在の里親で養育」55.0%（前回55.0%）、「養子縁組」33.4%（前回35.4%）に対し、「保護者のもとへ復帰」は6.7%（前回4.7%）にすぎない。養護施設児では「自立まで現在の養護施設で養育」64.2%（前回69.2%）、情緒障害児では「保護者のもとへ復帰」72.2%（前回69.5%）、教護院児では「保護者のもとへ復帰」56.3%（前回52.9%）、乳児院児では「現在の乳児院で養育」35.3%（前回32.8%）が最も高くなっている。

表14-1 児童の今後の見通し別児童数(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、教護院児)

	総 数	保護者の もとへ復帰	親類等の 家庭への 引き取り	自立まで現 在のまま で養育	養子縁組又 は 里親委託	現在のま までは養 育困難	その他	不 詳
里親委託児	2,175 100.0%	146 6.7%	15 0.7%	1,197 55.0%	726 33.4%	19 0.9%	65 3.0%	7 0.3%
養護施設児	26,979 100.0%	7,265 26.9%	300 1.1%	17,311 64.2%	275 1.0%	249 0.9%	1,364 5.1%	255 0.9%
情緒障害児	623 100.0%	450 72.2%	7 1.1%	72 11.6%	3 0.5%	11 1.8%	57 9.1%	23 3.7%
教護院児	1,920 100.0%	1,080 56.3%	21 1.1%	576 30.0%	7 0.4%	33 1.7%	175 9.1%	28 1.5%

表14-2 児童の今後の見通し別児童数(乳児院児)

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	現在の乳児院で養育	養護施設へ	母子寮へ	養子縁組又は里親委託	その他	不詳
乳児院児	2,720 100.0%	760 27.9%	28 1.0%	961 35.3%	548 20.1%	10 0.4%	240 8.8%	163 6.0%	10 0.4%